学習内容報告書 フォーマット

学校名	南さつま市立　坊津学園
授業者	小野　蘭奈

1.　単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1.　単元名

育てる漁業

1-2.　学年

５年

1-3.　教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

坊津学　社会

1-4.　単元の概要

坊津学の前単元で，坊津の人たちが多く関わっている仕事調べの学習を行い，坊津で盛んな漁業について調べた。坊津学で地域の「育てる漁業」には何があるのか，インターネットを使って調べ学習を行い，内容を広げて学習した。坊津では，クルマエビの養殖，クロマグロの養殖，鯛の稚魚放流などが行われている。坊津での育てる漁業が，社会科の「栽培漁業」「養殖漁業」の何に当てはまるか考え，生物に合わせた漁業方法の工夫などを学んだ。最後にはクルマエビ，クロマグロ，鯛の稚魚放流の違いや良さをポスターにしてまとめた。

1-5.　単元設定の理由・ねらい

社会科の学習内容を，坊津学でより発展的に学習させることで，知識・技能の定着を確実にする。また，坊津学で，子供にとって身近な地域産業を学ぶことで，学習内容と生活のつながりを実感し，学習への意欲を高め，地域に誇りをもてるようにする。

1-6.　育みたい資質や能力、態度

１　栽培漁業と養殖漁業の違いや共通点などを理解する。（知識・技能）
２　坊津の育てる漁業はどのような工夫がされているか，調べ，まとめる。（思考力・判断力・表現力）
３　社会での学習を，坊津学での学習に生かそうとする態度を育てる。（学びに向かう人間性）

1-7.　単元の展開（全　　時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 2	坊津学で，坊津の漁業について調べ，体験活動時の質問内容を考える。 インターネットで情報を集め，さらに知りたいことを話し合う。	・　担任による指導 ○　意欲的に話合いができていた。
3	鯛の稚魚放流体験を行う。鯛の稚魚を放流する理由や，稚魚の育て方などを理解する。	・　坊泊漁業 ○　しっかりとした態度で漁業の方の話を聞くことができた。
4 5 6	坊津学で，クルマエビの養殖について見学，体験活動を行う。エビの生態や養殖方法，エビの観察，出荷の方法などを理解する。	・　博多浦マリンファームと連携 ○　エビの生息環境を，しっかり観察することができた。
7 8	社会で「育てる漁業」について学習する。	・　担任による指導 ○　坊津学で学んでいることを関係付けて理解することができた。
9 10 11	坊津学で，クロマグロの養殖について，見学，体験活動を行う。マグロの生態や養殖方法，出荷の方法などを理解する。	・　西南水産と連携 ○　マグロがなぜ坊津で養殖ができるのかを理解することができた。
12 ～ 16	学んだことを広幅用紙にまとめる。 「海洋教育こどもサミット２０２０in おおむた」に向けて，発表の練習を行う。	・　担任による指導 ○　ポスターセッションの形で発表練習に取り組むことができた。
17 18	「海洋教育こどもサミット２０２０in おおむた」で発表する。	・　福岡県大牟田市教育委員会 大牟田市海洋教育推進協議会 ○　他県の発表を聞くことで，それぞれの地域の特徴にあわせた活動がされていることを理解できた。

2.　学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1.　単元における位置づけ

単元　１８　時間中の　４～６　時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目　/ 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2.　本時の目標

クルマエビの養殖について，学ぼう

2-3.　本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1　クルマエビ養殖の方々へ挨拶をする。	
2　養殖所の方からお話を聞く。 ・　クルマエビの生態 ・　出荷するまでの作業 ・　育てる際の工夫 ・　いけすの見学	2　職員さんがどのように育てているのかに注目させる。
3　エビの様子をスケッチする。 	3　クルマエビの稚魚から大人になるまでの姿やえさの違いなどに意識して観察させる。 ○　小さなエビのサイズと出荷するエビのサイズのちがいに気づき，成長の様子を知ることができる。
4　養殖所の方々へ質問をする ・　いけす１つにどのくらいエビがいるのか。 ・　いけすいの水がにごっているのはなぜか。 ・　エビの仕分けを行うときにどんなことに気をつけて見ているか。 ・　養殖する際，大変なことは何か。	4　質問は事前に考えておいた物以外にもできるように，観点を与え，気付かせる。 （色，大きさ，数，方法　等）
5　学校に戻り，学んだことをワークシートにまとめる。	5　職員さんの苦労や努力に気付かせ，坊津で行われる養殖のすごさ，魅力に気付かせる。
6　次時の活動について見通しを持つ。	

3.　今回の活動の自己評価

・　地元の産業であったため，温かく活動に協力していただいた。 ・　教科書だけでは知り得ない漁業に携わる人々の思いや工夫を知ることができた。 ・　子どもたちも，実際の様子を見学できたことで，地元の産業に誇りをもち，意欲的に学習に取り組むことができた。

4.　今後の課題

・　サミットの参加の有無によって，発表の形式が変わってしまう。持続可能な取組みを考えていく必要がある。

5.　本学習内容報告書活用にあたっての留意点

児童写真の顔が認識できないような状態に加工すること。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

　フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

　例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。